

札幌東区社保協

憲法九・二五条 生活を生かそう

新年あけましておめでとうございませう。安倍内閣は、年末に〇七年度政府予算案を決定しました。「成長戦略」を口実に減税や大型公共事業重視で大企業優遇をいっそう拡充する一方で、庶民には定率減税廃止による増税と相づく社会保障改悪で国民生活を直撃しています。自然増を二千二百億円も削減したり、生活保護では老齢加算の全廃に続いて母子家庭など一人親世帯の母子加算を三年間で段階的に廃止する事を打ち出しました。もう黙っていられます。孤立、孤独は命の否定につながります。主権者として、憲法二五を生かすため闘うしかありません。地域からの支えあい助け合いが必要です。憲法九条を生かす取り組みと、憲法二五条を生かす取り組みを各団体で今年もおおせいに取り組みましょう。

高齢者訪問から 見えてきたもの

勤医協中央病院が三三二名の「高齢者実態調査」を実施。
 ○デイの自己負担が増える
 と自分が我慢をすればいい
 と、食事を減らすなどしている。
 ○男性の一人暮らし近所付き合いがほとんど無い。
 1日中家にいる事が多い。
 ○年金と生保で生活しているがもろもろ支払うと二千円しか残らない。どうやって食べていくのか。
 ○十年でほとんど貯金が無くなった生保を受けたほうがいい。真つ暗だ。
 「見えてきた地域の様子」
 ①構造改革による貧困の広がり、生活苦。②高齢者の社会的孤立、閉塞感と孤独感。③友の会の役割。地域における連帯感と助け合いの輪を広げる。④人権の視点を貫く運動を全国的な集計は二月以降に公開される予定。

項目	主な負担増
税	増税、引き上げ
保険料	増額、引き上げ
介護保険料	引き上げ
健康保険料	引き上げ
国民年金	引き上げ
厚生年金	引き上げ
高齢者生活保護	削減
母子加算	廃止
障害者給付	削減
障がい児給付	削減
障がい者雇用	削減
障がい者施設	削減
障がい者サービス	削減
障がい者相談	削減
障がい者支援	削減
障がい者教育	削減
障がい者職業訓練	削減
障がい者福祉施設	削減
障がい者福祉サービス	削減
障がい者福祉事業	削減
障がい者福祉計画	削減
障がい者福祉施策	削減
障がい者福祉推進	削減
障がい者福祉実現	削減
障がい者福祉達成	削減
障がい者福祉達成	削減

六八、六九歳 だけが苦しい わけではない

札幌東区社保協が提出している「市老人医療制度の存続を求める陳情」は一二月一日市議会厚生委員会審査された。趣旨説明に清田区藤原さんが立ち、自分の実情を示しながら「廃止は福祉が遠のいていくように」と存続を訴えました。傍聴者も各団体から10人が参加しました。共産党の熊谷市議は負担の均衡や道老の廃止などは理由に反せず、市の老人医療を残すべきであると主張。市側は国の制度改悪で七〇歳以上がやがて二割負担になる事、道老人医療が〇八年で廃止になるので仕方ないと述べました。負担割合を變える事があっても制度廃止の理由にはならないとの追求に対して、「六八、六九歳だけを優遇できない、みんな苦しいのは同じ」との答弁。まったく福祉の切捨の論理でしかありません。結果的に社保協の陳情は否決され、札幌市老人医療費助成条例を廃止する事が可決されました。従って、道老及び市老は、平成二〇年三月三十一日を持って廃止される事が決まりました。続いて、「北海道後期高齢者医療広域連合の設立に関する協議の件」という議案も可決され、一、高齢者の資格証・短期証の発給が義務づけ。二、今まで扶養だった方を含め、七十五歳以上独立保険となる。(保険料は全道一律料金、独立した診療報酬、定額制が中心)となるようです。「ますます、高齢者の負担が増え、苦しめられます。」と傍聴行動に参加した、田中さんの感想です。

母親餓死事件20周年記念集会 どうなっている・どうなる生活保護

日時 07年2月3日(土)
13:30~14:00~16:30

札幌市社会福祉
総合センター4階
札幌市中央区大通り5丁目1-1

札幌弁護士会 市に警告書

母子家庭の母親が餓死

パート辞め寝込んだまま

札幌・白石区

一九八七年一月二十日、札幌市白石区のこと母子家庭の母親が三人の子どもを残して餓死した。おまえたち空腹だらう・・・今から二十年前の出来事である。そして、今年には、北九州市で同じような事が発生しています。秋田では抗議の自殺。つい最近では、函館市で失業と糖尿病の悪化のため生活保護の申請をするも申請を受け入れてもらえず自殺するという痛ましい事故が起きています。いっそう激しさをますます格差社会の進行のなかで社会保障の後退がとどまるところを知りません。私たちの周りにもたくさん生活困難者が生れています。